

高千穂の観光客を延岡へと運ぶには？

伊東栞愛, 黒田小雪, 岡田葵, 向朝日
延岡高等学校 Nobeoka High School

Abstract 「延岡の観光業や街の活性化へと繋げたいという思いから高千穂への観光客を延岡へ運ぶ」という研究テーマを設定し、まず延岡の魅力について自分たちで調べたり普通科生徒にアンケートに協力してもらい、その結果を元に旅行プランを立ててみた。その際に私達は外国人観光客をターゲットにしたプランを作成した。理由としては、高千穂に来る観光客の大半は外国人であるため。また、高千穂町内に掲示してもらう用のポスターの案を出し、海外の方向けへの外国語表記の作成も行った。研究を通して延岡の観光問題を上げるとするならば、交通アクセスが不十分であることだった。私達は少しでも協力できるようにこれからも観光に目を向けていきたい。

Keyword 観光/延岡/高千穂/SDGs/観光問題

1. 序論

(1) 研究背景

高千穂の観光客数は、140万人に対して、延岡市の観光客数は、コロナ禍もあり年々減少傾向にある。高千穂の宣伝効果を活かして、高千穂に来る観光客の割合を多く占めている外国人観光客をターゲットに延岡の魅力を知ってもらい、延岡へ呼び込むことができるのではないかと考えた。

(2) 研究の目的

宮崎県は他の観光地と比べて観光客が少ないのはなぜだろうと考えました。近隣地域(延岡・高千穂)に焦点を当て、既存の観光スポットを活かしながら、高千穂に来た観光客が延岡にも行きたくなるような旅行プランを考案し、観光活性化と地域活性化につなげたいと考えた。

(3) 先行研究

延岡市南部地域における「自然」、「食」、「歴史・文化」等の観光資源を活かした観光振興 施策を検証

・延岡市南部地域等観光資源調査

<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/uploaded/attachment/1414.pdf>

(4) 研究仮説

作成した旅行プランや私たちの意見を観光協会に提案し、修正してもらうことで、より現実的でより良い旅行プランが作成でき、延岡の発展につながると考えた。

また、日本語だけでなく多言語で延岡の良さを伝えたり、高千穂町内に延岡をPRするポスターを掲示したりすることで、日本人だけでなく外国人にも延岡に来てもらえるのではないかと考えた。

2. 調査方法

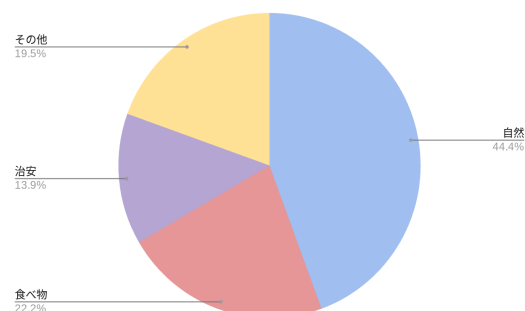
(1) 2年1～4組の生徒に延岡の魅力やおすすめ の場所についてのアンケートをとり、データを集計する。

(2) 研究方法

自分たちで延岡の魅力を探し、アンケートのデータを下高千穂の魅力と比較してみる。また、観光客は何に魅力を感じ、どのような目的で観光しているのか調べ、延岡の旅行プランを考えてみる。その後、延岡観光協会の方々にアドバイスをもらい、改善や付け足しを行う。

3. 結果

(1) アンケート



★アンケートの結果より、一番多かったのは「自然」であった。延岡にはきれいな海や山登りに適した山が多くあり、街全体を眺めることのできる愛宕山などもその一つである。

二番目は「食べ物」。延岡のソウルフードであるチキン南蛮や辛麺、地鶏などが挙げられた。

その他の延岡の魅力としては、街の治安の良さや人の温かさが挙げられた。

(2)旅行プラン

8:15 発 高千穂(宮交バスセンター)

9:44 着 延岡駅 10:19 発 延岡駅 11:10 着 古江
徒歩1分 北浦臨海パーク

11:15 クルージング(島浦周遊コース、
無人島上陸コース)

12:15 鯛屋金太郎で昼飯 目安13:30 まで
徒歩5分 北浦臨海パークでお土産を見る

2:00 発 古江 2:45 着 延岡駅

3:00~6:00 自由時間

6:00~ チキン南蛮を食べる(おぐらor直ちゃん)

～自由時間のおすすめ～

・スイーツ巡り

ティファニー、Diario、パリの街角、
スイーツポシェット

・神話巡り

今山神社、愛宕山、城山公園など

・アウトドア系

サバイバルゲーム、いちご狩り

★アンケートの結果や、観光協会のアドバイスをもとに、高千穂に来る観光客をターゲットに、アクティビティを好む外国人観光客に合わせて、海を中心に旅行プランを立てた。(観光協会のホームページに掲載予定)

4. 考察

私たちが小さい頃から暮らしてきた延岡の良さを体験できる旅行プランを、みんなに協力してもらったアンケートをもとに計画し、観光協会の方々に見せアドバイスしてもらうことで、高千穂に来る観光客が延岡に訪れるきっかけになるのではないかな。

5. 結論

延岡の中心的な観光資源は自然や自然を含むアクティビティである。

延岡の観光客数が少ない原因として、原因がたくさんある中で最も問題視されるべきなのは、交通のアクセスであると考えた。いくら観光資源があるとしても、観光客が足を運びやすい環境でないことは、今後とも重要視されるべきだ。

6. 謝辞

この度は私達の課題研究にご協力いただき、心より感謝申し上げます。特に、担当の五反先生やコーチの水永正憲様、岩本晋長様を始めとする延岡観光協会の皆様にご支援いただき、無事に目標を達成することができました。今後とも、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

7. 参考文献

・新たな価値観による中心市街地活性化(エリアマネジメント)事業(商業・駅まち振興課)

<https://www.city.nobeoka.miyazaki.jp/uploaded/attachment/1478.pdf>

・Let's ミヤタビ

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/6027/wysiwyg/file/download/1/850>